SDGs スタートアップ研究分科会・2025 年度方法論習得コース第 2 回実施報告

2025 年 12 月 20 日
PMI 日本支部 理事
SDGs スタートアップ研究分科会代表
稲葉 涼太

去る 12 月 20 日(土)、SDGs スタートアップ研究分科会のベーシックコース第 2 回の会合を開催しましたのでご報告いたします。

1. 2025 年度 SDGs スタートアップ研究分科会の概要

■【SDGs スタートアップ研究分科会とは】 PMI 日本支部は、SDGs 達成プロジェクトを効果的に軌道に乗せ推進する方法の開発・普及を図るために、2019 年 10 月から内閣府「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に「SDGs スタートアップ研究分科会」を設けています。2025 年度より SDGs プロジェクトのマネジメント手法を学ぶ「方法論習得コース」と、実際に事業として行っている SDGs プロジェクトを支援する「実践支援コース」の二本立てで実施しております。

A) 方法論習得コースについて
SDGs が社会に浸透し、「Why SDGs?」と「What is SDGs?」が提唱される機会も増えました。SDGs を絵に描いた餅にしないために実際に SDGs を事業として推進することが大切です。
しかし、SDGs 事業の取り組みを始めようとしても立ち上げ推進がなかなか効果的にできていないという課題認識を私達は持っています。
「How to Achieve SDGs」のために SDGs 事業に即したプロジェクトマネジメント手法である『SDGs スタートアップ方法論』を研修・ワークショップ形式で体得できるコースです。
2019 年からの 6 年間で、企業・行政・学校・非営利法人等、100 団体近くに研修、およびワークショップを提供しています。
今年度も 10 月、12 月、2 月の計 3 回の分科会を開催しています。

また、昨年から PMI 日本支部で**「学習歴証明デジタルバッジ」**の制度を開始しています。
本コースの受講と、提出レポートの所定の基準到達で、PMI 日本支部としての学習歴を証明するデジタルバッジを発行し SNS やご自身のプロフィール等でアピールいただくことができます。



図 1　(イメージ見本)　SDGs スタートアップ研究分科会 学習歴証明デジタルバッジ

B) 実践支援コースについて
実践支援コースは原則として昨年度の方法論習得コースに参加された団体で実際に実行されている SDGs プロジェクトを対象として伴走型の PM 支援を行います。
今年度も、既に株式会社・有限会社・学校教育機関・非営利法人の 7 法人と実際の SDGs 事業の支援を行っています。

2025 年度全 3 回の分科会の開催を予定しています。

図 2　SDGs　スタートアップ研究分科会のスケジュール

2. 第 2 回分科会概要

■開催日時：2025 年 12 月 20 日（土）13 時 00 分～17 時 00 分
■会場：オンライン(ZOOM)

当日の概況：
師走の折、多くの地域から多様な業種の方々13 名に参加いただきました。
当日のアジェンダは以下の通りです。

1. イントロダクションと前回のおさらいと今回の内容との関連付け
2. チェックイン : テーブル自己紹介
3. 講義①：ロジックモデル作成手順
4. 講義②：SDGs17 ゴールをバックキャスティングで考える
5. ワークショップ①：ゴールマッピング
6. ワークショップ②：ロジックモデル
7. チェックアウト：振り返り
8. 次回説明

講義では、SDGs 事業コンセプトを可視化した後、SDGs 達成を目指した「組織の活動計画」「組織の活動評価」手法の一つとして SDGs 事業の「ロジックモデル」を策定し、SDGs 事業を『絵に描いた餅』にせず推進させるための「ロジックモデル」の考え方と作成方法について学んでいただきました。
「ロジックモデル」は公知のツールではあります。
しかし当分科会のロジックモデルは公知のツールを発展させ、時系列でのプログラムマネジメント計画を行えるデザインにしたことと、アウトカムとアウトプット両方の成熟段階をマネジメントできるようにした点、また予測から確からしさを求める「フォアキャスティング」と、デザイン思考の考え方の一つである「バックキャスティング」を合わせ入れ、「ありたい未来」の仮定から逆算することでより展開の確からしさを求める点など、オリジナルバージョンになっています。

SDGs 事業コンセプトに対し SDGs のゴール・ターゲットとの結びつきを検証し、事業計画が時系列と論理構成が整合する計画を立てるところまでを体得する講義を行いました。

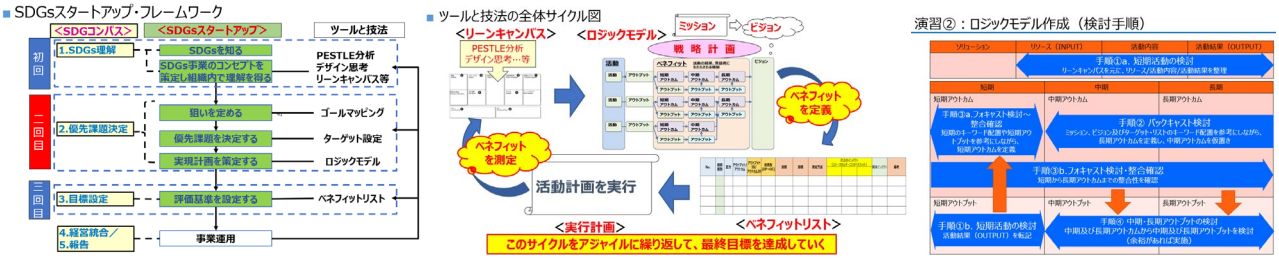
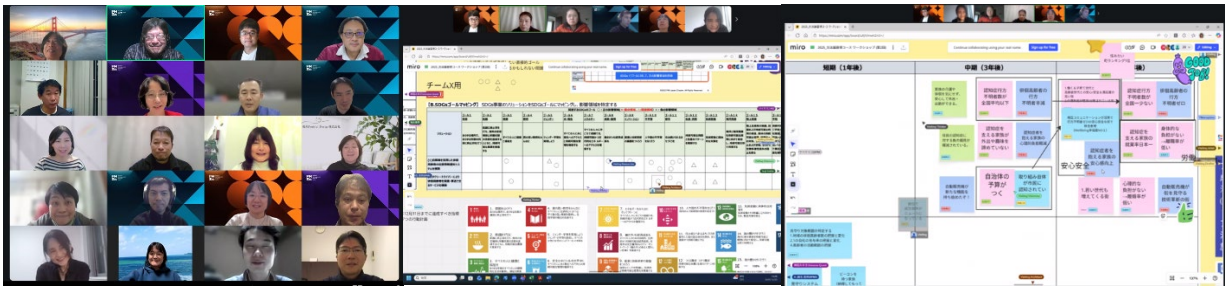


図 3 講義資料

後半のワークショップでは PMI 側がロールプレイ用に用意した、マルチステークホルダー型の仮想 SDGs 事業シナリオをベースに進めました。
① SDGs ゴールと事業の結びつきの検討
② 前回のリーンキャンバス作成からのキーワード分析
③ ミッション・ビジョンから紐づく長期・中期のアウトカムと、活動から紐づく短期・中期のアウトプット・アウトカムをロジックモデルに可視化するワークを行いました。


図 4　ワークショップの様子

多くの団体がロジックモデル作成は初めてでしたが、ワークショップ後の振り返りでは「バックキャストでロジックモデルを体系的に学ぶことができた」「短期・中期・長期のアウトカム・アウトプットの構築法について勉強になった」「多様なメンバーとの意見交換ができてとても新鮮だった」などの感想をいただきました。
昨年の参加者のフィードバックを踏まえ、ワークショップの内容を昨年より改善して臨みましたので、今回の参加者からのフィードバックの声が嬉しいです。

3. 今後の活動予定

■次回（第 3 回方法論習得コース）は以下の通り開催いたします。
■日時：2026 年 2 月 7 日（土）13 時 00 分～17 時 00 分
■会場： オンライン（ZOOM）

引き続き参加団体及び PMI 日本支部としての活動メンバーを募集しています。
お申込み等に関する詳細は下記のリンク先をご覧ください。

■方法論習得コース申し込みサイト
https://www.pmi-japan.org/sdgs/2025/08/18/post-1219/
■SDGs スタートアップ研究分科会の説明
https://www.pmi-japan.org/sdgs/
■私たちは「知・情・意」をテーマに Facebook グループ、note、YouTube の SNS 発信を行っています。
① YouTube：『SDGs スタートアップ方法論』及びベーシックコース概要は YouTube もご参照ください。
https://www.youtube.com/@SdgsStartup_pmij
② note：私達の活動に関する想いを発信しています。
https://note.com/sdgsstartup_pmij
③ Facebook グループ：私たち SDGs スタートアップ研究分科会活動の関係者、協力や応援してくださる方たちのコミュニティグループです。
https://www.facebook.com/groups/sdgsstartup.pmij

ご参照・問い合わせ先：PMI 日本支部 SDGs 担当(sdgs@pmi-japan.net)